

東鍼同窓会だより

東洋鍼灸専門学校同窓会 2024年10月1日発行 第18号

目次

●会長選挙に係る立候補受付について	1
●新理事による取材レポート	2
竹内 廣尚 先生	2
齋藤 鳳観 先生	6
moxafrica (モクサアフリカ)	11
●会長あいさつ	12
●同窓会からのお知らせとお願い	12
同窓会費の納入について	
国家試験合格率 (2年連続全国一位)	
訃報	
●2024年4月29日開催の総会と講演会等の様子	13
●広告 セイリン	14
●学校からのお知らせ	15
(2025年4月入学生募集 今後の入試日程)	
●第61回東鍼祭のお知らせ	16

同窓会 会長選挙 立候補受付について

- ・来年(2025年)4月29日の同窓会総会(予定)にて、同窓会の会長選挙を行います。その立候補を受け付けます。
- ・立候補される方は、2025年1月9日(木)までに、同窓会事務局へ、ご連絡(メール又は郵送)ください。(同窓会事務局の連絡先は、当誌最終ページに記載しています。)
- ・メールのタイトルは「同窓会会長選挙」とご記入ください。
- ・必要な記載事項は、以下の5項目です。
 - 1 氏名(ふりがな)
 - 2 生年月日
 - 3 卒業年度
 - 4 卒業学科
 - 5 連絡先(メールアドレスと電話番号)
- ・立候補の届け出後に、提出物等必要な書類の案内を行い、3月の「醫黄集門」で公表します。

同窓会新理事による取材レポート(1)

竹内廣尚先生インタビュー（令和6年7月5日、竹内鍼灸治療院に於いて）



インタビュー時の竹内先生

昭和45年 東洋鍼灸専門学校卒業
昭和50年 竹内鍼灸治療院を開業
昭和56年 東京鍼灸柔整専門学校（柔整科）卒業
昭和56年 竹内整骨院開業（竹内鍼灸治療院と併設）
平成7年から東洋鍼灸専門学校の助手、平成14年から講師を歴任しました。
平成23年4月には、東洋鍼灸専門学校の校長に就任され、8年間校長としての任を務め、平成31年3月に退任しました。

学校では、現在の実技の根幹である太極治療を導入された。また、墓穴の診断、10円玉と1円玉を使用する奇経治療、赤羽式知熱感度測定の診断・治療、心筋梗塞止めの手技などの知識を兼ね備えた先生です。

今回のインタビューにも気さくに、ユーモアたっぷりに応じていただき、今後、皆さんが行う診断・治療の糧となるお話を聞かせていただきました。

【鍼灸との出会いは】

高校一年生から柔道の教科があり、夏休み、東京の道場に通っていたのが原因か、9月末に友人と北軽井沢に遊びに行こうとした朝、井戸端で顔を洗っているとき、後ろから背中を刀で切られたような衝撃を受け、その場で倒れ、3日間動けず寝ていた。その後、群馬大学と渋川市の関口病院で治療をしていたが、背中痛みが治らなかった。看護婦をしている友人のお姉さんが北軽井沢に往診に行った時に病気を治すお天狗さんというおじいさんがいると聞いたので、訪ねてみたらと言われ、訪ねてみた。その人が囲炉裏を火箸で掻き回しながら、私の顔を見て、背骨の第7、8、9が曲がっている。（レントゲンと同じ）竹の根っことゲンノショウコ（薬草）を煎じて飲めば治ると言われたので、家の庭に釣り竿にする竹を植えていたので、その根っこを掘り、ゲンノショウコは買ってきて煎じて飲んだら、1カ月もしないうちに背骨の痛みが治ったのが、東洋医学を勉強する最初のきっかけだった。

鍼灸との出会いのインタビューを受けていたら、今までのことが走馬灯のように思い出されてきたので、少し好き勝手に話しますね。私がお寺で修行中に、ドイツの医師シュミット先生が鍼治療をするところをテレビで見て、針金みたいなもので病気を治す不思議さから、すぐに厚生省に鍼灸を学べる学校があるかを尋ねました。当時14校くらいあったと思います。次に知り合いに、鍼灸の学校について聞いたりしていたときに、ちょうど、私が4月、応永寺に修行に入った時に、前橋の橋林寺さんが永平寺にお参りに行くので、廣ちゃんも行きますかと誘ってくれて、応永寺の方丈さんに話すと「良いよ、行っといで」と許可をくれました。橋林寺さんのご縁は、私が子供の頃から遊びに行っていた高崎の梅玉堂というお菓子屋さんと同じ年の俊二さんがいて、兄弟のように育てられ、俊ちゃんのお姉さん、陽子さんが橋林寺にお嫁に行き、私と俊ちゃんも高校時代、橋林寺によく行ったので誘ってくれたと思います。永平寺に一緒にお参りした人の中に、小林春子さんという奥様がおりました。橋林寺さんとも親しく私も親しくして頂いていました。その小林さんが受験近くになった頃、東京においでと誘ってくれました。大学生の息子さん（小林茂美さん）と初めてお会いしました。その息子さんとお母さんが私の学校の事で話しています。翌日、「廣ちゃん、柳谷のところで良いんだろ」と、

お母さんに話して、私を新宿の東洋鍼灸専門学校に連れて行ってくださいました。これが東洋鍼灸専門学校との不思議なご縁の始まりです。私が鍼灸師になりたいと思ったきっかけのシュミット先生は、後でわかったのですが、柳谷先生のお弟子さんでした。

私が東鍼校に入学して、すぐにあん摩の教科書作りが始まりました。正子理事長や鶴谷先生たちがモデルを募集していて、元気が良かったので私が選ばれました。白衣を着ているのが私で、体にツボを書かれているのが小林弘先生です。こんなに長く残っているとは思いませんでした。有難いことです。

柳谷素霊先生が初代の校長先生をお願いしたいと思っていた、前橋のお医者様、高橋先生。今でも前橋と新宿は交通の便が悪いです。昭和の初めなんてなおさらですよ、それであきらめたと聞いています。前橋の小林春子さん、この高橋先生の知り合いだったか、茂美兄さんに聞いても、「おふくろの関係だろう」というばかりです。真実はわかりませんが、学校に連れて行ってもらったのは確かです。その高橋先生の一人娘さんと結婚したのが田島悦也さん、結婚後、田島さんは会社を辞め、東鍼校に入学し、正子先生が伊藤瑞鳳先生の元で勉強をさせ、鍼灸師となりました。その田島悦也先生と私の親が親戚筋なものですから、正子先生、竹内は田島の親戚だからといって可愛がってくれました。田島先生は伊藤瑞鳳先生の弟子、齋藤鳳観先生も伊藤先生の弟子、面白い時代だったでしょうね。私も高田馬場の田島先生の治療室にも遊びに行っていました。私は脈診ができないものですから、伊藤瑞鳳先生の「伯鳳会」、齋藤鳳観先生の「青鳳会」でも静かに勉強を続けさせてもらっています。田島先生が平成10年7月にお亡くなりになり、田島先生は渋川高校の同級生の戸部先生のお寺「玉泉院」（橋林寺の末寺）に奥様とご一緒に納められています。

【1日の業務の流れ】

朝準備をして、午前の施術は午前8時30分から正午、午後の施術は午後3時から午後7時までとなります。

【治療院のこだわり】

本に書いたように治療に活かす診断力の高めかた。私に教えてくれた先生方も全部診断があって、治療して患者さんが来ている。患者さんが来ていることが大事。つまり、患者さんを診断し、治療し、そして患者さんが元気になることです。私の友達に勉強家、岩城秀治先生が色々な治療法を行っている先生方を知っていて、岩城先生と一緒に15、16年くらい、10人ぐらいの先生のところを訪ね、いろいろ診断、施術を習いました。



竹内鍼灸治療院の治療室

【いままで治療した方（病気）で一番記憶に残っている治療は】

世田谷の三宿に往診行った時に、往診先の宿になっているところのご主人であるおばあちゃんが、私が施術している隣の部屋で、わあわあ騒いでいるので、何かと思って覗いてみると脂汗をかいて、胸を掻きむしっているの、あっと思って、心筋梗塞止めを行った。そうしたら、息をばあっと吹いて、「痛かった」と言った。その後、落ち着いたので、三宿なので、自衛隊病院にタクシーで行かしたらやはり、心筋梗塞だった。その後、帰ってきた息子さんたちが話し合いを始め、是非、今後もおばあちゃんを診てほしいと言われ、（10年生かしてほしい）12年間往診し、患者として看取った。この心筋梗塞止めを教わったのがとても役立った。その話が広まって、夜中にお父さんが死んでしまうと電話があつて、それだったら救急車呼んだらと言っても、「すぐに来てよ」と言われて、行って施術し、治まったので、あくる日、病院へ行ったら狭心症だった。また、練馬の患者さんも治療に来たら、顔が真っ白だったので、どうしたのと聞いたら、胸が痛いと言ったので、すぐに寝かせて、心筋梗塞止めをやって楽になったので、いつもの治療をしないで、すぐに練馬に帰って、練馬の

病院に行ってもらったら、やっぱり狭心症だった。このような患者を4人も見た。あともう1人は私で5人かな。このように皆さんは、絶対、救急操法は教わって覚えたほうが良い。たとえば、魚の骨が喉に刺さった場合は、都門とか！むち打ち症状の場合は頸椎調整法とか。みんな加藤春樹先生に教えていただきました。



竹内鍼灸治療院

【鍼灸師になって良かったと思う事】

私は、自由人っていうか、市役所とか区役所には勤められない。うちの親父は警察官だけど、警察官になろうとは思わなかった。自由が良かったので、佐藤栄二先生について太極治療の勉強をした。治療の勉強をしている時に、好奇心が旺盛だったので、いろんな方と知り会い、ご縁を頂いた。

【学校時代の思い出は】

まず、一つ目は、お寺に入って、お坊さんから、礼儀とかいろいろ教わり、その中で、とにかく本を読みなさい、読んだら、その作者に会わなければいけない。そして、会って感心したら本物だと言うのです。それで、武者小路実篤先生の本を高校時代から読んでいたので、東洋鍼灸専門学校に入って、クラスいた文学少女に先生の住所を調べてもらい、すぐに訪ねました。訪ねても、すぐに会えないと思っていたので、手紙を持って、お土産を持って、1ヵ月間通う予定だったのだけれど、初めて訪ねた日に会えました。玄関でお声を掛けたら、先生が出てきてくれて、先生が「まああがれ」と言って、奥さんがお茶を持ってきて、それからいろいろ話をした。帰る時に、また、「おいで」と言われたので、また、先生の家に向かった。社交辞令とは若かったので思わなかった。先生のところで、いくつもの失敗談があります。ひとつは、下手な絵がうず高く置いてあったので、先生が書いたのですかと尋ねたら、ピカソやゴッホだよと言われ、良く見ると教科書に出てくる絵だった。もうひとつは、川のところの上に先生の家があって、鯉が沢山、川に泳いでいたので、「鯉は何匹いるのですか」って聞いたら、「数えたことがないからわからない」って答えられた。当たり前だよ。でも何か話をしないといけないと感じていたからね。

二つ目は、学校に4月に入学したのだけれど、すぐに辞めたくなくて、辞めようとしたら、クラスの人がヒッチハイクをしようとしてくれた。私が、辞めようとしていたのがわかってたんじゃないかな。ヒッチハイクは伊豆半島1周、2泊3日だった。それから、春休みや夏休みの時は、ヒッチハイクをするようになった。九州の友人とヒッチハイクで旅をしている時に、大阪から別府まで船に乗った。その船の中で知り合った、世界救世教の四国の高松の方がいて、手のひらで病気を治す話を聞いたので、東京にもあるのかと尋ねたら、東京の杉並にあるということで後ほど訪ねたら、その支部長があなたの顔は「イギリスや」って言うんです。「あなたの顔は、第二のふるさとイギリスや」って言われたのが、5月で、8月の夏休みに、イギリスに15日間行かせてもらった。特にイギリスにいるバーナード・リーチ先生という陶芸家が好きで、武者小路先生や濱田庄司先生の友達でもあったので会いたくて、武者小路先生に紹介状を書いてもらって、会ってきました。2年生の時でした。

【健康管理の方法を教えて】

弟子が行う勉強を兼ねた治療法の数々と、あとは海洋深層水と3年物の黒酢。佐藤先生の馬鹿体操（名古屋の道場ではクラゲ踊りと言っていました）。

【鍼灸を世の中(特に日本)へもっと広めるにはどうしたら良いと思うか】

田中元首相の時に日中国交回復がされて、中国から鍼麻醉が入ってきて、これによって、鍼の施術が広まって、各デパートでも鍼の治療コーナーができたと思いますが、しかし、当時、鍼は痛かったためか、だんだん減っていきました。私もその当時、鍼麻醉の勉強会に出ている、その時に知り合った伊藤修先生が、10円玉（銅）と1円玉（アルミニウム）を貼って治療する先生で、その先生がテレビに出ると一週間以上、一日中、電話が鳴りっぱなしで、半年ぐらい経つと少なくなって、また出演すると電話が鳴りっぱなしになるのです。このように、広めるってことは、大変なことで難しいと思います。今後、さらに皆さんと勉強して広めましょう。



10円玉と1円玉で動くりんご時計を持つ竹内先生

【今後の鍼灸師としての展望】

東洋医学って、どうして効果があるのかわからないけれど、結果は良くなっている。どうして、そうなるのかを突き詰めていく必要があると考えてます。例えば、温冷治療器で皮膚の上を摩ると熱くない、手で摩った後に温冷治療器で皮膚を摩ると熱くなるという皮膚の不思議さ、知熱感度測定で指先ごとに熱感が違うのはどうしてか、五行の色体の診断で、肺なら白、心なら赤を使うと腰痛など楽になるのはどうしてなのか。このように診断して治療することが一番大事で、診断と治療と症状の改善とのメカニズムが明確にできれば広まるのではないのでしょうか。

【先生にとって鍼灸とは】

不思議なもの。私が教員養成科の時に、脈の図を書く時間があって、岡田明三先生の脈診によって出した証と私がお腹を使って磁石で診断した方法で出した証がぴったり合うのでとても面白いと思いました。



治療している竹内先生

【休みの日の過ごし方】

とにかく、好奇心が旺盛なので、色々な人に会いに飛び回っています。今年は、郡山、京都、群馬、鎌倉、富山と忙しい。高山にいる先生から、最後に会いたいと電話があったので、会いに行ったら、その2週間後に亡くなられた。最近は年配の先生がいなくなることも多くなり、寂しいです。

【好きなツボ】

太極治療に使うツボです。特に足三里ですかね

【座右の銘】

坂本龍馬の言葉で「世の人は、我を何とも言わば言え、我が為す事は、我のみぞ知る」と相田みつを先生の「つまづいたっていいじゃないか 人間なもの」です。

【先生、おすすめの本は】

武者小路実篤先生の本と、あと歴史物の本と治療関係の本ですね。歴史物では、司馬遼太郎先生が、自分の次の人と言った宮城谷昌光先生の「三国志」、「諸葛亮」など全部お勧めです。また、私の知り合いの馬主さんが馬に「セイウン〇〇」という名前を付けたいということになり、宮城谷先生が書いた「青雲はるかに」という小説の題名をお借りしたことを手紙で出したら、先生がとても喜んでくれて、そしてレースに勝ったんで

す。今、2勝しています。そして、馬主の方がレースの時の鞍を持ってきてくれて、宮城谷先生に届けたら、先生は、もう、身の回りの物を片付けているのでと言われ、今は、私の家の2階に置いてあります。治療法についてはどれが良いのかわかりませんが、それぞれの本に面白さがあるので読んでいます。私が書いた「治療に活かす「診断力」の高めかた」も目を通して見てください。

【今後の夢は】

勉強したい人には、教えます。何でも教えたいし、覚えてほしいし、後を継いでほしいです。今まで私に教えてくれた先生方の診断、治療の技術は最高です。太極治療は、その意味ではとてもバランスの取れる治療ですし、知熱感度にしても、温冷治療にしても、人はバランスが整ったら病気は治るのです。是非、皆さんが、やりたいこと、知りたいことで、私が知っていることであれば伝えていきたい。

【在校生+卒業生へメッセージ】

皆さんへのメッセージは、‘しっかり頑張れ’。少し話は変わりますが、学校の2年後輩で、年齢は、今、103歳の近藤房子先生が、私が同窓会会長になった時に来てくれて、その時90いくつでした。是非、100歳の誕生日パーティをしましょうと言うことになったのですが、コロナ禍でできなかった。その後、年賀状が来て、元気ですとのお便りをいただいたので、令和6年6月23日の日曜日に会ったのですが、長生きをされていて、今でも自分に鍼を打って治療しておられていますし、ご飯も沢山食べられています。皆さんも、体に気をつけて、いい仕事をしてほしい。また、修行は、確かに辛いけれど、勉強会に行ったら、その先生をしっかり深く見つめて、是非、その会の幹部になってほしい。幹部になることによって本当の意味で治療を知ることができる。外から見るとはではなく、中に入ってしっかり学んでほしい。

◎施術所 竹内鍼灸治療院（竹内整骨院） 東京都府中市宮西町5-3-3 042-364-4750

[取材 2024年卒業 横尾怜、境野詩峰、樋山真実、山本麻美]

同窓会新理事による取材レポート(2)

齋藤鳳観先生インタビュー（令和6年6月25日、孔鍼閣鍼灸院に於いて）



インタビュー時の齋藤先生

昭和46年 東洋鍼灸専門学校卒業

東洋鍼灸専門学校で37年間の講師、57年間の臨床をされています。神奈川県相模原市に「孔鍼閣鍼灸院」、東京都町田市に「孔鍼閣鍼灸院町田分院」を開業し、古典鍼灸青鳳会を主宰。

東洋鍼灸専門学校では、レジェンドと言われ、的確に症状を捉えて、素早く、短時間で治療し、結果を出す技術、臨床力を備えた先生です。

今回のインタビューにも気軽に応じていただき、今後、皆さんが臨床家となるための道しるべとなる、お言葉を沢山いただきました。

【鍼灸との出会いは】

母が、鍼灸あん摩師で、その影響で、繋いでいくという感じです。そう、最も身近なところに出会いがあったということです。

【何歳の時に、明確に鍼灸師になろうと思ったのですか】

20歳ごろかな。若者らしい、いろんな夢があったと思うんだけどね。やっぱり、1番身近なところで、繋いでいくのかなと、そういう感覚です。心底にあったんだと思います。

【そのきっかけは】

母親がいろんな病気を治してる様子を見て、また、調子が悪い時には、自分も治療してもらったから、やっぱり実効性を、力があるっていうことを実感して。

【1日の業務の流れ】

町田の分院と、ここが本院ということだから。午前中は、基本的に町田の分院の方だね。分院の診療時間は、午前8時半からお昼まで。今日も分院で診療して、そして本院に移動して午後2時から午後6時まで。町田の分院と本院を往復してします。

【分院と本院で大体何人ぐらい治療していますか】

15人から20人を治療してる。

【治療院のこだわり】

このとおり、見てのとおり清潔感です。明るさと清潔感、暗い鍼灸院では困るでしょう。

【いままで治療した方（病気）で一番記憶に残っている治療は】

毎日が劇的な変化っていうかね。さっきの治療もそうだったけど、あえて、症例を1つ挙げるとすれば、33歳の女性だね。令和2年の9月が初診で、初潮から20年余りの月経困難症ということで、鎮痛剤をずっと服用していました。

それで、施術開始から2か月後の11月の時点で、月経痛がなくなっちゃいました。9月の初診から11月には、もう痛みがなくなったっていう感じで、その後は、健康維持管理のため、1か月に1回ぐらいで通院してた。その後、扁桃炎とか、不整脈とか、花粉症とかに対応して、令和5年の6月から妊活を開始し、9月の10日に懐妊した。そして、体調管理の施術をし、令和6年の5月に女の子が無事誕生しました。

また、他の症例の28歳の女性は、令和2年の7月が初診で、上側頭位逆子で、出産の1カ月前に来院、来院前に色々手当てしているけれども、治らなかった。最後の望みをかけて来院しました。令和2年7月から4回治療し、正常に戻った。胎児が大きくぐっと動いたので、びっくりしたという報告をしてくれました。そして、普通分娩で、無事に、男の子が生まれ、その後、生後2か月の赤ちゃんとして、夜泣きの治療に来た。今のは、特に記憶に残っている症例であったが、劇的な変化しているものは、今日もあったけれど、もう毎日です。

うちは長く（治療）にかからない、かけないっていうか、かからない。治ってしまう。早く治さないと次に繋がっていかない。やっぱり、早くしないとダメなんだ。はい、そのぐらいの症例だが、思い返せばきりがありませんね。

【治療で一番大事にしていること・治療のこだわり】

陰陽通刺、念気通達、標本同治、少穴著効。少ないツボで最大の効果をあげる。余計なツボは使わない。柳谷先生が示されたものを実践している。

本治を行って、数本施術して、症状の痛みを取る。このような治療は、全部、理屈に則っているわけで、それを如何にして、工夫して、引き出して対応するかです。それこそ妙技だね。授業で妙味自在と白板に書いた記憶があるけど、覚えていないかな。



インタビュー風景

【使う鍼の本数を決めていますか】

決めていない。臨床だから、その場、その場で、短時間で施術する。着替えも入れて全部で20分。(本院では1時間半ちょっとで7人!!!) 本日は、町田で10人だから、17人でした。土曜日は20人ぐらいかな。

学校で示していることを実際にやっている。それだけのことだけど、うそも隠しもない、誇張することもない。

【鍼灸師になって良かったと思う事】

自己の健康管理を強く意識するようになったこと。それが最もいいことじゃないかね。そのためには、やっぱり 節制しないとイケないしね。その管理能力が、学校も37年間休まないし、臨床家になって57年間一度も休んだことがない。だから、生徒さんに、その姿を見せないとイケない。こういう鍼灸師もいるんだよと見せていく必要があるわけだ。

【健康管理の方法を教えてください】

医食同源だね。そうすると、食べ物の量と質ということになるわけだ。だから、食材を1日20から30種類ぐらい、そして、毎回おかずが、10品前後ぐらい出てくるわけで、僕の治療は、少穴著効だけど、食べ物は多種で、バランスよく、特に野菜が多い。日本人は腸の長さからして、そういう民族だから、昔の日本人らしい食事の内容でしょう。

【1番好きな野菜はなんですか】

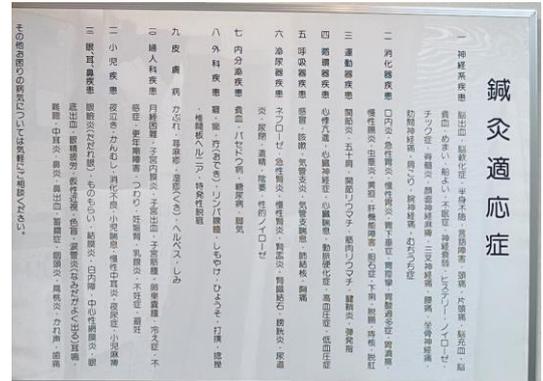
白菜とほうれん草かね。昔の昭和時代の食事は、そんなに豊かでなかった。貧しい中で白菜なんて、大量に食べれる食材だね。煮浸しとかお浸しするとかする、そういった時代に育ったから、ほうれん草とか白菜がいいんじゃない。後は海藻、山のもの、畑のもの。(バランスが大事ってこと) 東洋医学そのものがバランスで、食べ物でも陰陽があるわけで、体を温めるもの、冷やすもの、それを意識しながら。

【鍼灸を世の中(特に日本)へもっと広めるにはどうしたら良いと思うか】

臨床家として、地道な啓蒙活動をすることで、結果を出す臨床術です。上辺だけではダメで、言っていることとやっていることがちょっと違うなんてことになる。治してあげると説得力があり、それが1番じゃない。やはり治してこそ、鍼って効くんです、いいもんです、次から次へと繋がっていくでしょう。

2番目には、現在の鍼灸医療の疾病限定の保険取り扱いでしょう。今の限られた疾病限定だけの保険取り扱いでなくて、多くの疾病に広げ、医師の同意書でなく、診断書のみで保険取り扱いで鍼灸のところに行けるように、なっていることが望ましい。開かれたものになるようにしていかなければいけない。海外では、幅広く保険適用しているところもあるようだから。でも、日本はそういった外から風が吹かないとなかなか動かない

国だから。今回、NHKのスペシャルで報道されたことを伝えたり、それを見てLineする人がいたり、とにかく外からの風が吹いてこない、残念だけれどそんなところも期待しないといけないわけです。それからもう一つは、鍼灸手技について、先ほど話したように、各種メディアを活用して強力に発信し続ける。いろいろなところで発信してもらえるように、業界で常に働きかけを続ける、走り続けること。そして、最もいいのは、結果の出せる臨床力を持った臨床家を増やすこと、色々な病気に対応できること。だから、東鍼校の卒業生の人には、なお、頑張ってもらわなければいけない。当院の待合室に貼っている鍼灸適応症に対応できる臨床家に育って行って、頑張ってもらわないといけない。



【今後の鍼灸師としての展望】

僕は、鍼灸医療の家系に生まれた。母親でしょう。僕が2代目でしょ。そして、娘と息子が3代目で、4代目、孫がいるわけで、それに繋がっていく、それを見定めることが1つの展望というか、夢というかね、それから、この東鍼校ならではの本治法の魅力、そして、その威力というものを後世に繋げていくことを強く思ってるわけだね。それが、柳谷先生の願いでもあったわけで、そうやって繋いでいく役目もあるんじゃないのかな。

【先生にとって鍼灸とは】

終生の掛けがえのない伴侶というか、パートナーだね。



相模原市の孔鍼閣鍼灸院

【休みの日の過ごし方】

資料の作成とか、それから、種類は問わないけれど読書かね。例えば、この前まで読んでたのは、牧野富太郎の植物学です。あとは、旅行だよ。毎年、海外旅行、特にヨーロッパだけだけど。今年は暑いから、来春にしようかなと思っている。あと、いつも音楽を流して、音楽鑑賞。もう起きている間、音楽を聴いてる、ながら族だね。音楽聞きながら、読書しながら、家事もやる。

休みの日でも朝、4時には起きて、ストレッチをやって、次にラジオも聞きながら仏壇に、ご飯をあげて、水とお茶を入れてね、それが始まり。そうやって全部整えて、食事して、6時半にはもう町田に出かける。それで、向こうを掃除するわけですよ。小1時間かけてね。このように綺麗にする。清潔感がない治療室はどうですか。いやでしょう。そういう1日のルーティーンが、あるわけだね。リラックスする時は、お風呂に入った時。自分はリラックスしているなって、そんな感じじゃない。

【寝るのは何時ごろ】

夜11時、起きるのが朝4時だから5時間くらいしか寝てないかな。

【好きなツボ】

中腕だね。この経穴っていうのは、気血を生成するわけでしょ。そしてまた、それを促すわけでしょ。そしてかつ整齊、整えるっていうことだよ。それらに関係する枢要な役割を担ってるツボと捉えてるわけだから、重要で、また好きなツボっていうわけだね。

【座右の銘】

探求心だね。これがすごく臨床では大事で、ある物事は、あくまでも探し求めて歩む過程の楽しさや難しさを実感してるわけよ。そして最後に喜び、充実感を得るということだね。つまり、実証的なよね。なぜかな、何かな、どうしてかな、あくまでそれを求めていくわけだよ。その過程の難しさ、そしてその難しさを解いた時の達成感、充実感っていうのがあるわけで、常にその繰り返しをするわけで、それを実践していく、実証していくということで、探求心がなければダメだね。

【先生、おすすめの本は】

池田政一さんの医道の日本社出版の「素問靈枢ハンドブック」で、古典の入門書だけれども、臨床にも活用できる。分かりやすい。

【在校生+卒業生へメッセージ】

日々のこの臨床において、物事の本質は、何かと意識するというものがあるでしょ。そうした時になぜかなって、なぜこうなのかな、どうしてなのかなって強く意識するわけですよ。そして、今度そのことを確認するための実践作業があるわけだよ。その作業がすごく大事で、実践して確認する。そして、それをまた実践し、確信を得るようにする。この物事の本質は何なのかなと常に意識することが、臨床家としてはすごく必要なのかなと思う。あとは、臨床家として大事なのは感性なんだよね。僕が、学校で教え始めた時には、感性が大事ですよという言葉は禁句の一つだった。今の時代は、世の中変わってきて、捉え方が違ってきたね。この感性がすごく大事で、感性を磨くにはどうするかっていうと、直感力なんだよね。



臨床の勉強会の風景

直感力がないと、感性を磨くことができないんだよ。直感力を引き出すためには、またどうするかっていうと基礎なんだ。基礎力がなければ、直感力も出せないんだ。直感力が出せないってことは、感性に繋がっていかないんだ。全ては基礎、基盤、そこにかかってくるのよ。それがあからこそ、直感力を養っていくうちに、いわゆる感性が、すごい感性ですねっていうことになってくる。最初は、みんな平均的な感性があるからね。それをさらに得意なものにしていくには磨いていくほかないし、養っていかなければならない。つまり究極的には、基盤、基本、基礎力がなければどうにもならない。基礎力があって、応用力が、そして、最終的には感性というところに繋がってる。それで、完成かな。(笑)

◎ 診療所 孔鍼閣鍼灸院 本院 神奈川県相模原市中央区千代田6-11-12 042-754-0628
町田分院 東京都町田市原町田6-19-9 2F 042-725-4922

◎ 青鳳会 <http://cyan-phoenix.sakura.ne.jp/www/index.html>

[取材 2024年卒業 横尾怜、境野詩峰、樋山真実、山本麻美]

同窓会新理事による取材レポート(3)



OKYU CAN CHANGE THE WORLD!!

お灸の力は世界を救う!!

東洋鍼灸専門学校では、2018年から moxafrika JAPAN のボランティア活動として、艾捻り練習をした際に出る“使用艾”の選別・お手入れを行い、途上国へ送るプロジェクトに参加しています。今回はこのプロジェクト活動の発起人、君島先生へお話を伺いました。



△モクサアフリカの出会い△



代表ゆきさんの講演を聞いたことが最初の出会いだったように思います。思えばクラスメイトは以前よりモクサアフリカの活動内容を知っており伝えてくれていたのですが、その時は余裕もなく聞くだけで終わってしまいました。後に、このことだったのか！と繋がり、今でもそのクラスメイトは色々と私を助けてくれる存在です。

△なぜこの活動を東洋鍼灸専門学校で始めようと思ったのか△

モクサアフリカ主催クリスマスチャリティに出たところ、他校が寄付をしていることを知り、“東洋鍼灸にもできることがあるのではないかと考えたことがきっかけです。お金を寄付することではなく、お灸をひねる練習を重ねることを大切とする東洋鍼灸だからこそできること。ヨモギから艾を作る授業がある東洋鍼灸だからこそ、今のボランティアが成り立つのだと思います。またその場を通して素敵な輪が広がり、交流する場を設けられたらなと思いました。



△今後活動目標など△

今までと変わらずお灸の普及活動です。また、ダーバンでの活動に関してはアフリカでの人材発掘など現地で任せられる人を作っていくことが今後の目標となります。

東洋鍼灸に関しては活動を続けて7年目になりました。ボランティアでふるいなおされた艾は実際にダーバンなどで使われています。

代々バトンタッチされながら、引き続き輪を広げ活動を継続することが目標となります。

△在校生・卒業生へ向けて一言△

okyu can change the world !! 年2回の活動ではありますが、毎回皆さまのご協力のもと心温かくわいわいと活動できてます。練習済みの艾が見事に復活できるのも、その艾によって救われる人々を想いながらの丁寧な作業だからこそ。治療をしてもお灸の素晴らしさは日々感動を与えてくれます。

これからもその素晴らしさを伝えるべくどうぞ宜しくお願いいたします。

moxafrika (モクサアフリカ) とは？



moxafrika は、2008年に2人のイギリス人鍼灸師 (Merlin Young and Jenny Craig) によって設立されたイギリスのチャリティ団体です。現在はイギリス本部には理事が7名います。

moxafrika は、「日本の直接灸が結核治療の補助的な役割をつとめえるのか」という研究、および「お灸の普及活動」、「お灸の普及活動をする団体・個人への支援」に重点を置いて活動を行っています。



<https://www.moxafrika.org>

<https://www.moxafrika-japan.com>

[取材 2024年卒業 横尾怜、境野詩峰、樋山真実、山本麻美]

会長あいさつ

第15代同窓会長 風間正男



会員の皆様、こんにちは。

今年も夏の暑さは厳しく、台風や異常気象による土砂・風・水害等も頻発しましたが、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年も4月29日に総会と記念講演会を開催することができました。施設をお貸しいただいた毛塚理事長先生をはじめ、ご協力いただいた学校関係者の皆様に、この場をお借りして、心より感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

記念講演会では、猪飼鍼灸の猪飼祥夫先生に京都からお越し頂き、学生を含む100名を超える参加者があり、活気ある講演会となりました。

来年も4月29日(火)に総会等を開催する予定ですので、是非、ご参加ください。

同窓会が卒業生の皆様方にとって、交流の場として、或いは情報交換の場として、今後もお役に立つよう、引き続き尽力してまいりたいと思いますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

同窓会からのお知らせとお願い

※ 同窓会費の納入について

○ 同窓会の会費は年会費です。毎年、3,000円の納入をお願いしております。

今年度の会費未納の方に、振込用紙を同封いたしましたので、ご協力をお願いいたします。

○ 機関誌「醫黄集門」と、「会員名簿」(5年毎に発行)は、会費納入者にお届けしています。

次回の「醫黄集門」には、今年の記念講演会の講演録(猪飼祥夫先生)を掲載する予定です。

○ 「同窓会だより」は住所の登録されている会員全員にお届けしています。

なお、住所を変更された場合は、必ず同窓会事務局あてに、ご連絡ください。

※ 東鍼校 新卒者国試合格率 2年連続 全国1位達成

新卒者合格率 95.8% (2023年度80名以上受験)

全国平均 85.8% はり師国家試験

全国平均 86.25% きゅう師国家試験

新卒者合格率 100%

全国平均 92.8% あん摩マッサージ指圧師国家試験

※ 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

加島春來 先生 (S48 本科卒) 令和6年8月25日永眠 (享年93歳)

(株) 東洋医学健康センター代表取締役 加島色彩研究所 院長

国際色彩診断治療研究会 会長

2024年4月29日開催 総会と講演会等の様子



相談役会



総会 受付



総会 執行部席



総会 相談役席



総会 会場



総会 議長



講演会 猪飼祥夫先生



講演会 会場

広告 セイリン

学校からのお知らせ

2025年4月入学生募集

今後の入試日程

試験区分	受験学科	願書受付期間	選考日
社会人入試(第2回)	鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜)	9月24日(火)～ 10月2日(水)	10月6日(日) 9:40 集合
一般入試(A日程)	鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜)	11月1日(金)～ 11月6日(水)	11月10日(日) 9:40 集合
一般入試(B日程)	鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(昼・夜)	11月25日(月)～ 12月4日(水)	12月8日(日) 9:40 集合
特別入試(第1回)	鍼灸科(昼・夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(夜)	1月6日(月)～ 1月15日(水)	1月19日(日) 9:40 集合
特別入試(第2回)	鍼灸科(夜) 鍼灸あん摩マッサージ指圧科(夜)	1月27日(月)～ 2月5日(水)	2月9日(日) 9:40 集合
特別入試(第3回)	鍼灸科(夜)	2月17日(月)～ 2月26日(水)	3月2日(日) 9:40 集合

※平日入試(18:40 集合)も10月以降に開催致します。

受験生紹介制度のご案内

卒業生の皆様から、「入学希望者」をご紹介いただきたくご案内いたします。本校にご興味・ご関心のある方がいらっしゃいましたら下記担当までご連絡いただければ幸いです。ご紹介いただいた卒業生の皆様にはご来校確認後、“お礼の品”をお送りさせていただきます。詳細は下記担当までお問い合わせください。

□入試事務局 03-3209-5436(代表) info@toyoshinkyu.ac.jp

オフィシャルサイト「卒業生開業治療院MAP」無料掲載のご案内

本校オフィシャルサイトにて「卒業生開業治療院MAP」を公開中です。全国の治療院をお探しの方や「はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧」にご興味をお持ちの方々への情報を提供しております。今後さらに充実したコンテンツとすべく、開業された先生方からのご連絡をお待ちしています。

□お問い合わせ窓口 03-3209-5436(代表) info@toyoshinkyu.ac.jp

第61回東鍼祭のお知らせ

日頃より 各部及び委員会活動にご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。
今年のテーマ 『Let' s 養生』のもと、昨年に引き続き盛大に東鍼祭を開催いたします。

手技部・温灸部（予約制）、浮き物通し部・もぐさ作り部・篆刻部（予約不要）、
業者販売部・喫茶部等、各部活・委員会が卒業生の皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時/場所：2024年11月2日（土） 10～15時/東洋鍼灸専門学校 校舎

※講演会は昨年と同様に、在校生向けに別日に開催する予定です。

東鍼祭実行委員長 中村俊治

墓前祭のお知らせ

毎年、2月20日には、柳谷素霊先生・正子先生が眠る
小平霊園において、墓前祭が行われております。

その様子は、毎年「医黄集門」で会員の皆様にご報告
しているところです。

会員の皆様には、是非スケジュールを調整してご参加ください。



東洋鍼灸専門学校 同窓会だより 第18号

発行日：2024年10月1日

事務局 東洋鍼灸専門学校内

発行者：東洋鍼灸専門学校同窓会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-4-4

会長 風間正男

TEL：03-3209-5436

編集：「同窓会だより」編集委員

FAX：03-3209-5569

印刷：共栄印刷株式会社

E-Mail：dosokai@toyoshinkyu.ac.jp